

862
1

60



国立国会図書館 タイトル『尾州半田村百姓吹流候一件』 請求記号 862-1

ガラス使用

862-1
(60)

文化十四年尾州半田村百姓吹流候一件

苗子極月六日替系九水主兩人江信表に着仕同前坂夷
余前江口頭在成候故同前口江取回在表に同く在也
以爲系組に内取多死去候旨何卒因元家内と者に
早にお通し候旨以後通達候旨各々一男坂夷国許
涉番家ら指上候旨字相渡由同月十二日お飛御
便に右字書江江口江信公信表に候末
清公義標に吟味中候邊に表立候旨も為候旨存候旨
以同見候旨指上候

替系九水組人取

尾州半田村

同上
肩吉

尾州半田村
半吉



ベケツの船は
セツの船は
カワレ共船ハ
同しる由

百石も積りて船に名ハベケツと申す者も人水主七人
其外獵師極く多し人殺し組も在り右船頭ベケツは
篤實人者ら私共心付異し中々云はれ難述次事ハ
夫ハ四日舟海上せし方一お籠り多島岩存り申すは
大なる海をフ見たり元船ハ波船拾四艘ト右獵師
とのとも一箇ハ系組右邊一指せし島對との多島は
右獵師ともハユリヤと申すとの西庄由り者大島ら獵
る由り由取りて前々海上二日子せし方一お籠りニ
中前(名は)い前ハ地方ら至而暖氣成国ニ西庄ハ海
凡々里斗川上り人家五六軒有る人跡し者凡信魯西
亞人同船ニ在り申すは者らと名ヲテカト申す三人ハ
魯西亞
ロサイアト
云

アメリカ洲
ノ内

カイタノ
ノハ船の
事ナリ

右(ラテカ)家ニ在り船種々甚生御氣船ハ此者毎朝舟抱
陸(カ)船ハ此船ハ頭ハ馬多ク性急始馬
系ハ前日斗運出は前前ハ同前ハ帆ハ
海上十日目ニ船尾ハ元船楫と打痛ハ月々ハ船ハ
船ハ此船ハ申すも有る心死ハ日本船と違ハ船
及ハ此船ハ申すハ思丹ノ事ハ極鳴ハ船ハ安
ハ此船ハ申すハ組船ハ大工早進他ハ申すハ海
十日斗ハ此船ハ申すハ近着ハ前ハ魯西亞ハ申すハ
海岸ニ在り船ハ申すハ身人申すハ大抵ハ位ハ申すハ
穴ハ前ハ申すハ申すハ申すハ申すハ申すハ申すハ
申すハ申すハ申すハ申すハ申すハ申すハ申すハ
申すハ申すハ申すハ申すハ申すハ申すハ申すハ
申すハ申すハ申すハ申すハ申すハ申すハ申すハ

船カ
申すハ
申すハ
申すハ



右右船入洋仕の長役人辨之者去人の船にけし不の儀も交易
仕はれども之は右海上に破損仕候其船も他の仕はれ
林木川下仕候人殺角少く日本船と見しはる事ハ知れ
管六と申志は先年日本合漣流人由凡け前三十日程逗留
仕候所の来仕候所が帆仕海上日救の免不し余程船方
お掛りニツタ
何れも船仕候所は海客三人或は三拾船も
多し候人押し者も多人殺死仕候船も此の船は
り九船西亞大船は艘何しも三船同小船六艘メリケンの船も
八九艘死船は逗留中六船は艘何れも日本船は仕候
けし不人の名ハバ行と申すも此の船はあやうくは船は
買入りしに候し去船仕候し去人もあやうくは船は仕候
買入りしに候し去船仕候し去人もあやうくは船は仕候

時々其仕候船は其門も三重にお掛り番人もあやうく
あやうく仕候船は其門も三重にお掛り番人もあやうく
玉の仕候船は其門も三重にお掛り番人もあやうく
塩滴と申候船は其門も三重にお掛り番人もあやうく
元舟一積入申候船は其門も三重にお掛り番人もあやうく
海上甲日同の船は其門も三重にお掛り番人もあやうく
海客又ハ清の船は其門も三重にお掛り番人もあやうく
去去去年八月十日昔比も此の船は其門も三重にお掛り番人もあやうく
入船仕候し不にも其の上陸仕候船中斗り仕候船は其門も三重にお掛り番人もあやうく
役人ルタコフと申候者も其の上陸仕候船中斗り仕候船は其門も三重にお掛り番人もあやうく
同人ルタコフと申候者も其の上陸仕候船中斗り仕候船は其門も三重にお掛り番人もあやうく
送り候し不にも其の上陸仕候船中斗り仕候船は其門も三重にお掛り番人もあやうく



の心死する事由り九月中旬比もお成ツカ
海航し航るも右日本人送り越し私に以テ早ト
とくことお承り候風書日本の上陸する事由
兼りいる早途右日本人の對面仕度上陸仕
お合はるる薩摩船しんこいりて
お其後ハオレも上陸する薩摩しんと同船仕
其貴人御書ヤリ右ラニダニ私に指廻し
少の都合ハ西行候し候用と承り私共其貴人
西亞の方より兩扱はる一且アムカ候人
はる日本一差留し候事由り候事
中く之由年中ニ否中承る事薩摩人ハ差留
はるも私共今一々年同前清留候事

ロンドン

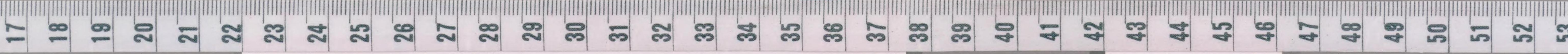
お成し行たはる私共其貴人御書
地にて水運留候事候事候事候事
日之遊當年中ハ船は承り候事
ルタコラ一お承り候事候事候事
三人ハアイヤ沖に候事候事候事
船に引候事候事候事候事候事
六人同船候事候事候事候事候事
九月廿一日迄同候事候事候事
之魯西重船司工候事候事候事
之者私共ハ一人承組順風石置
相成同前航候事候事候事候事
り知南一お承り候事候事候事

ロンドン



既心算の通くお成は逆風法少ある船あかくウツ
くも向々拭度は瀬後におもつ大津浪仕方難航
可仕は同一心配仕は各其日苦方漸う苦後
其甚尊西亞船は何方迄をりは哉相見不る一西日
一お船の有り滞留仕は船お船勝子西向は西南の方
人の言人も居不るワニホウと申可る東浦より由
逗留仕順風は合是西にもおもえラリ人由十三日
小船よりお船の一夜海に羽立日何方に云ヤ
夫の南月七日順味はお船幸徳訂一面にお船は
お船の何と申は船の何と申は船の何と申は船の何と申は
船の何と申は船の何と申は船の何と申は船の何と申は

善る尊西亞人友是つり西の方お船は船夫去人
早退は船の禮儀は仕は月程共日本人より由申し同前止者
仕友は申しは船の禮儀は仕は月程共日本人より由申し同前止者
波有しは船の禮儀は仕は月程共日本人より由申し同前止者
清番屋と申は船の禮儀は仕は月程共日本人より由申し同前止者
有は右を船の禮儀は仕は月程共日本人より由申し同前止者
有命と申は船の禮儀は仕は月程共日本人より由申し同前止者
以は船の禮儀は仕は月程共日本人より由申し同前止者
不申は船の禮儀は仕は月程共日本人より由申し同前止者
之を船の禮儀は仕は月程共日本人より由申し同前止者
勿論破船は船の禮儀は仕は月程共日本人より由申し同前止者
無事也



一 音吉中より松依生国代官所何夏玉加茂乃子浦
と云ふ家方代に清古家と云ふ有れ十八歳に船乗高屋
仕文化十四年八月曾江戶表は船乗高屋
と云ふ生玉子浦沖の漣流仕是国に助け有る高屋
子浦と云ふ船以長古家と云ふ通相違之有る高屋
は船乗高屋と云ふ中船乗高屋と云ふ高屋と云ふ
相違之有る是又船以と云ふ通と云ふ有る

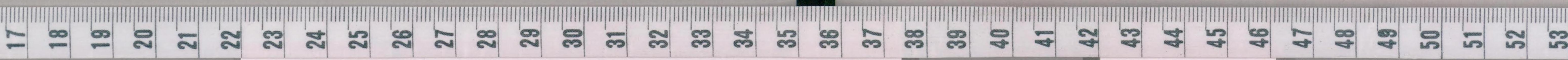
右に候其毛頭お邊に候右奉申上

文化十三年七月

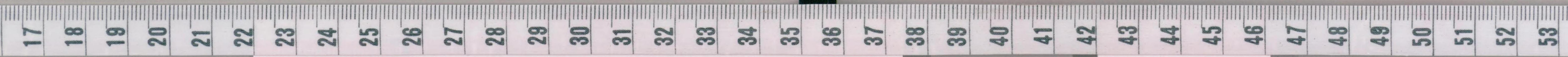
船以
長古家
水主
音吉

邑上貞助様

右長古家の文化十四年七月四日曾江戶表は船乗高屋
は船乗高屋と云ふ八月尾州に船乗高屋

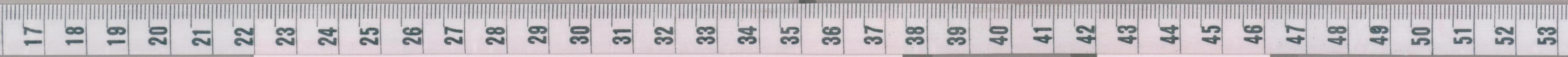
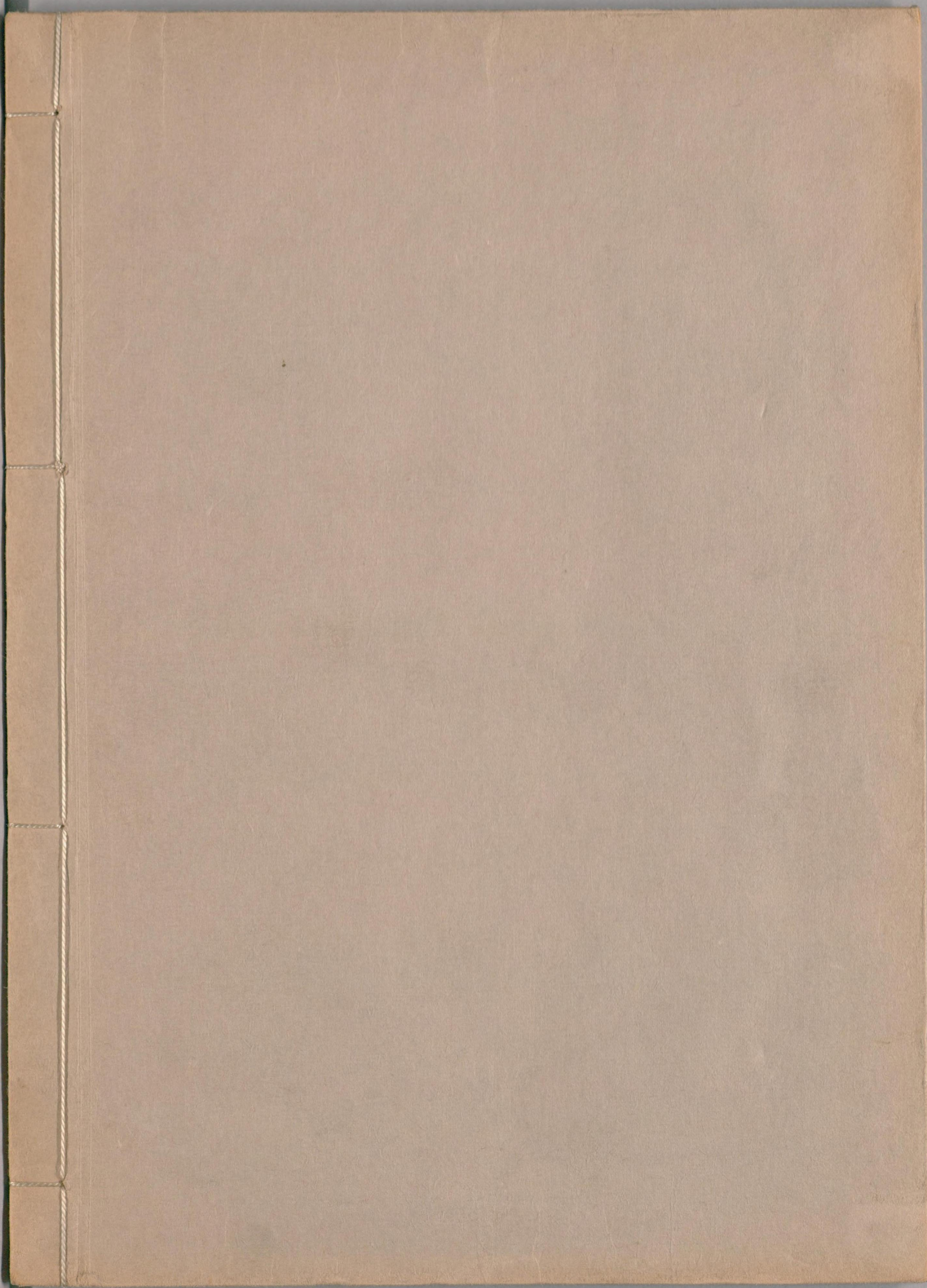


862
1



国立国会図書館 タイトル『尾州半田村百姓吹流候一件』 請求記号 862-1

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル『尾州半田村百姓吹流候一件』 請求記号 862-1

ガラス使用